

世界医師会（WMA）台北総会について

—日本医師会横倉義武会長、世界医師会次期会長に選出される—

概 要

世界医師会（WMA）台北総会が台湾の台北市において2016年10月19日から22日にかけて開催された。日本医師会からは、横倉義武会長（WMA 理事）、松原謙二副会長（WMA 理事）、道永麻里常任理事（WMA 理事）、学術集会講師として渋谷健司教授（東京大学大学院医科学系研究科国際保健政策学）が出席した他、畔柳達雄参与、村田真一弁護士、日本医師会 Junior Doctors Network から、三島千明、岡本真希、加藤大祐、鈴木航太各医師が参加した。全体の参加者は、58加盟国医師会、Junior Doctors Network: JDN、赤十字国際委員会等から約300名で、そのうち日本からは日医代表团他、福岡県医師会を中心に総勢38名が参加した。今回の総会で特記すべきは、22日の総会本会議における WMA 次期会長選挙において横倉会長が選出されたことである。次期会長選への立候補は、会長の他、中国医師会、クロアチア医師会、ナイジェリア医師会からの4名であった。横倉会長は、1年間次期会長を務め、2017年10月のシカゴ総会において、世界医師会長に就任する。また、新会長にケタン・デサイ インド医師会元会長が就任した。議事では「シリアにおける医療施設及び医療従事者の保護に関する WMA 緊急決議」が採択された他、「ヘルスデータベースとバイオバンクに関する倫理的考察に関する WMA 宣言」が「台北宣言」として採択された。21日の総会式典において台湾の蔡英文総統による歓迎の辞、22日の公式晩餐会において陳建仁副総統による挨拶がそれぞれ行われた。学術集会は「医療制度の持続可能性」をテーマに行われ、ツォ・イェン・リン台湾保健大臣による基調講演に続き、渋谷健司 東京大学大学院国際保健政策学教授による「高齢化社会での医療の持続可能性、世界的観点から」が行われた。その他、CMAAO（アジア大洋州医師会連合）の懇談会（12加盟医師会、約50名参加）が行われた他、韓国医師会と今後のさらなる連携について議論を交わした。なお、新規加盟申請はなく、加盟医師会数は112となっている。

1. 会 期：平成28年10月19日（水）～22日（土）
2. 場 所：台北（台湾）
3. 参加者：横倉会長、松原副会長、道永常任理事、畔柳参与、村田弁護士
渋谷健司教授（東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学）
日本医師会 JDN：三島千明、岡本真希、鈴木航太、加藤大祐
（随員）国際課：能登課長、小林課員

4. 日 程：

10月16～18日 JDN ミーティング

10月18日 (火) 作業部会

(ジュネーブ宣言、ヘルスデータベース・バイオバンク)

{ 19日 (水) 理事会、財務企画・社会医学・医の倫理各委員会
20日 (木) 準会員会議、学術集会「医療制度の持続可能性」
21日 (金) 理事会本会議、総会式典
22日 (土) 総会本会議 (次期会長選挙)、理事会

5. 参 加

約 300 名：58 加盟国医師会、Junior Doctors Network: JDN、赤十字国際委員会、欧州医師常設委員会、国際医学生連盟 (IFMSA) 等。

日本からは日医代表団他、福岡県医師会を中心に総勢 38 名参加。。

6. 新会長就任および次期会長選出

22日の総会本会議における世界医師会次期会長選挙において横倉会長が選出された。次期会長選への立候補は、会長の他、中国医師会、クロアチア医師会、ナイジェリア医師会からの4名であった。横倉会長は、1年間次期会長を務め、2017年10月のシカゴ総会において、世界医師会長に就任する。

新会長 (2016年10月-2017年10月)：ケタン・デサイ インド医師会元会長

次期会長 (会長職：2017年10月-2018年10月)：横倉義武会長

7. 財務担当役員を選出

アンドリュー・ディアデン WMA 理事 (イギリス医師会) が新たに財務担当役員となった。

8. 総会での主な議決事項

(1) 緊急決議として採択された文書

「シリアにおける医療施設及び医療従事者の保護に関するWMA緊急決議」

この決議は、WMAや加盟各国医師会が、シリアにおける医療の保護を目的として行動を起こし、そこで働いている医師やその他医療専門家を守ることににより国際社会に影響を与えるために活用されることを意図している。

(2) 医の倫理関係

1) 採択文書

「ヘルスデータベースとバイオバンクに関する倫理的考察に関するWMA宣言」：「台北宣言」として採択

「死の判定と臓器の回復に関する WMA シドニー宣言修正」

「拘留および監禁に関連した拷問およびその他の残酷、非人道的または品位を落とす扱いまたは処罰に関する医師のための指針としての WMA 東京宣言修正」

「児童虐待に関する WMA 声明修正」

「兵器とその生命や健康との関係に関する WMA 声明修正」

2) 作業部会により継続審議される文書

「WMA ジュネーブ宣言修正案」

(3) 社会医学関係

1) 採択文書

「高齢化に関する WMA 声明」

「WHO タバコ規制枠組条約の実施に関する WMA 決議修正」

「女性生殖器切除に関する WMA 声明修正」

「囚人の身体検査に関する WMA 声明修正」

「国際医療選択科目における倫理的考慮事項に関する WMA 声明」

「ジカウイルス感染に関する WMA 声明」

「難民と移民に関する WMA 理事会決議」

「産業・環境保健と安全およびジェンダーの側面に関する WMA 声明」

「子どもの肥満に関する WMA 声明」

「化石燃料への投資撤回に関する WMA 声明」

「医療その他の基幹インフラに対するサイバー攻撃に関する WMA 声明」

「負傷事故抑制に関する WMA 声明修正」

「交通事故傷害に関する WMA 声明修正」

「青年期の自殺に関する WMA 声明修正」

「飲酒と路上の安全性に関する WMA 声明修正」

「医師および公衆衛生に関する WMA 声明修正」

「肥満対策における医師の役割に関する WMA 声明修正」

「アヘン薬物乱用および向精神薬乱用の予防と治療における医師の責任に関する WMA 声明修正」

2) 作業部会設置案

「持続可能な開発に関する作業部会」の設置

ポルトガル医師会提案。日本医師会は作業部会構成員の一員

3) その他

環境問題検討会による WMA 会合における可能な範囲でのペーパーレス化の提案。

(4) 財務企画関係

1) 財務報告

2015 年度財務報告 承認

2017 年度予算 承認

2) 今後の会議開催日程

開催年	会期	開催地
2017 年	4 月 20-22 日	リビングストーン理事会 (ザンビア)
	10 月 11-14 日	シカゴ総会 (米国) 学術集会テーマ： 「医学部教育における質の確保」
2018 年	4 月 26-28 日	リガ理事会 (ラトビア)
	10 月 3-6 日	レイキャビク総会 (アイスランド)
2019 年	4 月	理事会 (開催地未定)
	10 月	イスタンブール総会 (トルコ)
2020 年	4 月	理事会 (開催地未定)
	10 月	トビリシ総会 (ジョージア)

3) 新規加盟医師会の承認

新規加盟申請なし。加盟 112 各国医師会。

(5) 学術集会

テーマ：「医療制度の持続可能性」

基調講演：「台湾におけるよりよい医療へのロードマップ」

ツォ・イェン・リン台湾保健大臣

セッション 1：「医療制度の実績」

講演：「高齢化社会での医療の持続可能性、世界的観点から」

渋谷健司、東京大学大学院国際保健政策学教授

セッション 2：「e-ヘルス」

(6) 準会員会議

1) 理事会に検討のため付託される文書

「健康と気候変動に関する WMA 宣言案」

「備蓄天然痘ウイルスの廃棄に関する WMA 声明案」

2) その他議事

・ JDN 報告

JDN 役員選挙において“Membership Officer”に三島千明 JMA-JDN 副代表が再選された。

・ WMA 元会長、元議長ネットワーク報告

9. その他

・ CMAAO（アジア大洋州医師会連合）懇談会（12 加盟医師会、約 50 名参加）開催。懇談会には、WMA からサー・マイケル・マーモット会長、ザビエル・ドゥー前会長、オトマー・クロイバー事務総長、また、ロバート・ワー アメリカ医師会元会長が参加した。

・ 韓国医師会と意見交換の場を持った。

以上

October 19-22, 2016



ケタン・デサイ世界医師会長
インド医師会元会長

横倉義武世界医師会次期会長
日本医師会長

サー・マイケル・マーモット世界医師会前会長
イギリス医師会元会長、London University College疫学教授